

組みを展開してまいります。

## 8. 予算編成と予算規模

令和2年度当初予算編成に当たりましては、第4次石垣市総合計画後期基本計画及び実施計画に掲げた施策を着実に最も効果的に実施することを基本に、職員の創意工夫と知恵を結集し、あらゆる歳入の確保に全力を挙げるとともに、扶助費や普通建設事業費をはじめとする財政需要に的確に対応するための予算編成を行いました。

一般会計当初予算の特徴として、前年度と比較いたしますと、歳入におきまして、自主財源の根幹となる市税で、引き続き好調な地域経済等の要因により約1億3千万円の増額を見込み、更に、地方交付税におきましては約3億5千万円の増加を見込んでおります。歳出におきましては、乳業施設高度化整備事業、石垣小学校校舎新増改築事業、子育て環境の充実や高齢化に伴う社会保障費の増大、新市庁舎建設及び新川市営住宅建て替え等に伴う大型事業の実施により、過去最大の歳出規模となっております。

令和2年度一般会計の総額は、352億円で令和元年度当初比12.7%の増となっております。主な内訳といたしましては、総務費65億9,217万3千円、民生費128億1,926万4千円、衛生費24億4,340万7千円、農林水産業費34億4,652万2千円、商工費3億9,392万8千円、土木費31億4,229万1千円、消防費6億8,230万円、教育費33億1,243万6千円などとなっております。

特別会計及び公営企業会計の総額は、166億9,291万2千円で前年度当初比5.0%の減となっております。

## むすびに

ここまで、令和2年度の市政運営を行っていくにあたり、私が公約しました「日本一幸せあられるまち石垣市」を実現するために重要となる施策を述べさせていただきます。

昨年12月、中国湖北省武漢市を中心に発生しました新型コロナウイルスは、短期間のうちに世界に広まりました。本市におきましては、感染者は出ておりませんが、海外航空便の運休やクルーズ船のキャンセルなど、観光面において影響が出始めております。観光産業は、本市の基幹産業であることから、今後、国や県と連携しあらゆる対策を講じ、本市経済への影響を最小限に留めるよう努力してまいります。

昨年5月、元号が「平成」から「令和」へ変わりました。今年、令和初めてのオリンピック・パラリンピックが日本で開催されます。4年に1度の世界最大のスポーツの祭典は、各国のトップアスリートが繰り広げる真剣勝負や裏に隠れている人生ドラマなど、観ている我々に大きな感動を与えてくれます。更に、日本代表選手に本市出身のアスリートが選出される可能性が十分にあり、私も大きく期待しているところです。また、聖火リレーが初めて本市を通過します。聖火ランナーには市民からも選出され、市内における聖火リレーコースも決定しました。私は、東京オリンピック・パラリンピックを通して、市民皆様そして本市経済がますます元気になることを期待しております。また、本市の更なる経済成長の呼び水となるゴルフ場を含むリゾート施設の整備につきましては、事業主である民間企業と連携し、事業着手に向けて取り組んでいるところです。令和2年度中に着工できるよう、引き続き協力を行ってまいります。令和2年度は、私にとりまして、市長3期目の折り返しとなります。私が皆様と約束したマニフェ



ストの実現にあたり、その進捗状況をしつかりと確認し、ひとつひとつのゴールに到達するよう、職員と一つのチームとなって力強く取り組んでまいります。

むすびに、市民をはじめ議員各位のご理解とご協力を引き続き賜りますようお願い申し上げます。私の令和2年度施政方針とさせていただきます。